

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国宝重要文化財等の買上げ	担当部局庁	文化庁	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和25年度～終了年度未定	担当課室	文化財部伝統文化課 文化財部美術学芸課	伝統文化課長 平林 正吉 美術学芸課長 江崎 典宏				
会計区分	一般会計	政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化財保護法 第46条	関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定) 国宝・重要文化財等買取基準 国宝・重要文化財等買取要領					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民共通の財産である国宝・重要文化財及びこれらに準ずる文化財(以下「国宝・重要文化財等」という。)の国内外での散逸を防ぐとともに、劣化やき損のおそれのある文化財を保護することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	転売等による散逸や、海外流出及び劣化・き損のおそれがあるなど、国において保存を図る必要のある国宝・重要文化財等について、買い取りを行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	1,641	2,187	1,332	1,332	2,032	
		補正予算	-	-	△ 0	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	1,641	2,187	1,332	1,332	2,032	
	執行額	1,638	2,175	1,301				
執行率(%)	99.8%	99.4%	97.6%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	本事業は、国内外への散逸等を防ぎ、国において保存を図る必要のある国宝・重要文化財等について、国が買い取る事業であり、数値での定量的な成果にはなじまない。	成果実績			—	—	—	
		達成度	%		—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	買取物件数/年	活動実績 (当初見込み)		17	29	34	—	
				(—)	(—)	(—)	(—)	
単位当たりコスト	39,188,029(1,332,393,000円/34買取物件数)	算出根拠	単位あたりコスト＝予算額/年間買取物件数					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国宝重要文化財等買上費	1,332 百万円	2,032 百万円					
	諸謝金	0.4 百万円	0.4 百万円					
	職員旅費	0.1 百万円	0.1 百万円					
	委員等旅費	0.1 百万円	0.1 百万円					
	庁費	0.1 百万円	0.1 百万円					
	計	1,332 百万円	2,032 百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				

事業所管部局による点検									
	項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国民共通の財産である国宝・重要文化財等の国内外での散逸を防ぐとともに、劣化やき損のおそれのある文化財を保護することを目的とし、国において保存を図る必要のある国宝・重要文化財等について、買い取りを行っている。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○						
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	契約の相手方は売渡申出者(所有者)に限定される随意契約とならざるを得ないが、買取候補物件の調査審議や価格評価にあたっては、契約の透明性・公正性を図るため、外部の各専門家により構成された会議において、多角的な視点から評価を行い決定している。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○						
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	転売等による散逸や、海外流出及び劣化・き損のおそれがあるなど、国において保存を図る必要のある国宝・重要文化財等について、買い取りを行う。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—						
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
点検結果	<p>本事業において買取候補となる国宝・重要文化財等は、他に比較対象がない唯一の文化財であることから、契約相手方は売渡申出者(所有者)に限定される随意契約とならざるを得ないが、買取候補物件の調査審議や価格評価にあたっては、契約の透明性・公正性を図るため、外部の各専門家により構成された会議において、多角的な視点から評価を行い決定している。また、平成21年度からは、より一層の買取手続の透明性の確保を図るため、買取物件の概要や評価を行った各専門家の氏名について事後公表するよう改善を図ったところであり、今後も引き続き契約の適正化に努める。</p>								
外部有識者の所見									
外部有識者による点検対象外									
行政事業レビュー推進チームの所見									
現状通り	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、国宝重要文化財等の国内外への散逸や劣化や毀損のおそれのある文化財を守ることを目的に、国が自ら文化財を買い上げるものであり、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は長期にわたり実施しているものの、国として必要な買上げを専門家の評価・意見に基づき実施しており、文化財の選考にあたって重点化を図るなど適切な予算執行に一層努めつつも、文化財の海外流出など国益を損ねることがないように、国として現在の事業内容を維持すべきである。</p>								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況									
現状通り	—								
備考									
<p>文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html 国宝・重要文化財等買取基準 http://www.bunka.go.jp/bunkazai/kokuyuzaisan/pdf/kaitorikijun_ver03.pdf 国宝・重要文化財等買取要領 http://www.bunka.go.jp/bunkazai/kokuyuzaisan/pdf/kaitorioryo_ver03.pdf</p>									
関連する過去のレビューシートの事業番号									
	平成22年	0475	平成23年	0398	平成24年	0418			

※平成24年度実績を記入。

文化庁
1,301百万円

諸謝金 1百万円
委員等旅費等 0.3百万円
を含む

〔事業概要〕
売渡申出者から申し出のあった文化財
を購入し、購入代金を支払う。



【随意契約・購入】

売渡申出者
(全34件)
1,299百万円

※「表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない」

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)水戸忠			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	文化財の買上	315			
計		315	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社水戸忠	文化財の売り渡し	315	随意契約	—
2	有限会社神田紫雲洞	重要文化財の売り渡し	210	随意契約	—
3	株式会社宝永堂	文化財の売り渡し	158	随意契約	—
4	株式会社古美術下條	文化財の売り渡し	126	随意契約	—
5	個人A	重要文化財の売り渡し	124	随意契約	—
6	株式会社壺中居	文化財の売り渡し	89	随意契約	—
7	個人B	重要文化財の売り渡し	85	随意契約	—
8	株式会社瀬津雅陶堂	重要文化財の売り渡し	84	随意契約	—
9	株式会社藪本	重要美術品の売り渡し	55	随意契約	—
10	個人C	文化財の売り渡し	35	随意契約	—